

昭和

議会だより

第

72

号

平成26年7月15日 6月定例会

<群馬県昭和村議会>

2・3 6月定例会で決めたこと

4・5 臨時会・トピックス

8～12 村の姿勢を問う

14・15 みんなの声

昭和村ブースを訪れる横浜市民の皆さん(横浜開港記念バザー)

対策に 補正増



6月 定例会 で決めたこと

6月定例会(平成26年第3回定例会)は、6月6日から13日までの8日間の会期で開催されました。

初日に村長から行政報告を受け、報告1件、条例の一部改正や補正予算など議案5件について提案理由の説明がありました。

最終日には、議案5件について質疑、討論、採決を行い、原案どおり可決。同日、上程された「社会体育館耐震工事契約の締結について」と、議員発議のあった「新聞への消費税の軽減税率適用を求める意見書について」をそれぞれ可決しました。

報告

土地開発公社の財政状況報告

平成4年7月に設立され、平成14年度から事業は休止となっているが、財産管理及び法定事務等のみが行われている。平成24年度は6298円の損失となった。

条例の一部改正

特別職の職員で非常勤のもの
の報酬及び費用弁償に関する
条例の一部改正

障害のある児童・生徒の
就学先を決定する「適正就
学指導委員」を「教育支援
委員」に改める。(全員賛成)

道の駅条例の一部改正

道の駅「あぐりーむ昭和」
内のおぐりーむ館に入っ
ている農家レストランの飲食
販売に関する使用料を売上
額の3%から8%に改める。
(全員賛成)

社会教育委員設置条例の一部改正

社会教育委員の委嘱要件
を村の条例で定めること
になり、(1)学校教育及び社会
教育の関係者、(2)家庭教育
の向上に資する活動者、(3)
学識経験者から委嘱するこ
とになる。(全員賛成)

補正予算

平成26年度一般会計補正予算

算(第2号)

歳入・歳出それぞれ20億
4407万4千円を追加
し、総額は58億8664万
2千円。

主な歳入は、再生可能エ
ネルギー等導入推進基金事
業県補助金が4998万円
の増、大雪による被災農業
者向け経営体育成支援事業
県助成金が16億6600万
円の増、東京電力負担によ
る文化財発掘調査費が12
50万円の増など。

主な歳出は、太陽光発電
設備設置事業費(役場西庁
舎と道の駅の2カ所)62
80万円の増、被災農業者
向け経営体育成支援事業助
成金が19億5000万円の
増、東京電力の鉄塔建て替

え工事に伴う岩下清水古墳
群内文化財発掘調査費14
50万円の増など。
(賛成多数)

契約

平成26年度社会資本整備総
合交付金事業社会体育館耐
震工事契約の締結

社会体育館の耐震工事を
行うにあたり、沼田土建(株)
と1億2474万円(消費
税込)で契約する。
(賛成多数)



耐震工事が始まった社会体育館

発議

新聞への消費税の軽減税率
適用を求める意見書

より少ない負担で、新聞

農業用施設等の被害 19億5千万円を



道の駅「あぐりーむ昭和」内のあぐりーむ館に入っている農家レストランの管理運営について、昭和村さくら工房を指定する。指定期間は、7月30日から3カ年。
(全員賛成)

公の施設の指定管理者の指定

その他

を容易に購読できる環境を維持するため、消費税増税に際し、複数税率を導入するとともに、新聞への軽減税率を適用するよう安倍内閣総理大臣と麻生財務大臣に意見書を提出する。
(全員賛成)

提出された議案等と賛否一覧

※○は賛成 ●は反対 ※議長は、採決に加わらない。		山田博昌	加藤美昭	兵藤喜孝	加藤生	角田茂	星野吉一	横坂先夫	倉澤俊雄	中里信幸	林幸司	高橋昇三	藤井富夫
第2回臨時会(平成26年4月18日)													
承認第1号	専決処分事項の承認を求めることについて(税条例の一部を改正する条例について)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
承認第2号	専決処分事項の承認を求めることについて(国民健康保険税条例の一部を改正する条例について)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
承認第3号	専決処分事項の承認を求めることについて(平成25年度一般会計補正予算(第8号))	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
承認第4号	専決処分事項の承認を求めることについて(平成25年度国民健康保険特別会計補正予算(第4号))	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
承認第5号	専決処分事項の承認を求めることについて(平成25年度農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号))	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第25号	平成25年度大河原小学校校舎大規模改造工事契約の締結について	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	—
議案第26号	平成26年度一般会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
第3回定例会(平成26年6月6日～13日)													
議案第27号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第28号	道の駅条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第29号	社会教育委員設置条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第30号	公の施設の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第31号	平成26年度一般会計補正予算(第2号)について	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	—
議案第32号	平成26年度社会資本整備総合交付金事業社会体育館耐震工事契約の締結について	●	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	—
発議第1号	新聞への消費税の軽減税率適用を求める意見書について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

平成26年第2回臨時会

第2回臨時会が4月18日に開催され、5件の専決処分事項を承認し、議案2件を原案どおり可決した。

承認(専決処分)

税条例の一部改正

主な改正点は、耐震改修を行った既存建築物に係る固定資産税の減免措置を受けるための手続きを定めるとともに、優良住宅地の造成等のために土地等を譲渡した場合の長期譲渡所得に係る軽減税率の適用期限を3年延長し29年度までとすることなど。(全員賛成)

国民健康保険税条例の一部改正

後期高齢者支援金及び介護納付金の賦課限度額が引き上げられるとともに、低所得者に対する国保税軽減措置が拡充された。(全員賛成)

平成25年度一般会計補正予算(第8号)

歳入・歳出それぞれ1億

3581万円を追加し、総額は4億593万6千円。

主な歳入は、特別交付税の確定に伴い地方交付税1億28万7千円の増や、地方消費税交付金など各種交付金3799万7千円の増。また、大雪被害に対し、群馬県町村会ほか2件から1030万円の寄附金と、横浜市・自由民主党横浜市議員団・取手市・取手市議会より見舞金152万円の増など。

主な歳出は、財政調整基金への積立金1億8565万4千円の増。一方、障害者自立支援事業費が1766万3千円の減、除雪作業費が2693万9千円の減となる。(全員賛成)

平成25年度国民健康保険特別会計補正予算(第4号)

歳入・歳出それぞれ2606万6千円追加し、総額

は11億8197万3千円。

主な歳入は、国庫支出金のうち療養給付費負担金が998万1千円の増、財政調整交付金が910万6千円の増など。

歳出は、一般被保険者療養給付費が2606万6千円の増。(全員賛成)

平成25年度農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)

歳入・歳出それぞれ355万5千円を追加し、総額は3億2385万5千円。

主な歳入は、東京電力福島第一原子力発電所の事故に伴う24年度賠償金342万の7千円の増など。

主な歳出は、修繕料355万5千円の増。(全員賛成)

補正予算

平成26年度一般会計補正予算(第1号)

歳入・歳出それぞれ3千256万8千円追加し、総額は38億4256万8千円。主な歳入は、大雪による

被災農業用施設の廃棄物処理するための災害等廃棄物処理事業費国庫補助金403万4千円、財政調整基金からの繰入金2853万4千円など。

主な歳出は、被災農業用施設の廃棄物処理するための災害廃棄物処理委託料806万8千円の増や、被災者の住宅や事業用施設等への見舞金2450万円の増。(全員賛成)



雪害による腐ビニール等を回収

建築工事として屋根、外壁、サッシの改修及び電気設備や機械設備工事を行うため、オーケン・石坂特定建設工事共同企業体と1億9310万4千円で契約する。(賛成多数)

報告

繰越明許費繰越計算書(平成25年度一般会計補正予算(第8号))

平成25年度予算2億3832万8千円を26年度へ繰り越すもの。

繰越の主な内容

- 児童育成管理事業 354万3千円
- 赤城西麓土地改良事業 27万4千円
- 農山漁村活性化プロジェクト支援交付金事業 800万円
- 橋梁維持事業 2169万7千円
- 大河原小学校校舎大規模改造事業 2億481万4千円

契約

平成25年度大河原小学校校舎大規模改造工事契約の締結

視 察 ・ 調 査 ・ ト ピ ッ ク ス

横浜開港記念バザーに参加

開催日 平成26年5月28日～6月3日
参加者 議員全員
場 所 横浜公園

横浜開港記念バザーの歴史は大正9年に始まり、今年で83回目を迎えた。開催7日間の人出は約70万人を見込んでおり、横浜市の初夏を彩る一大イベントである。

議員も3名ずつ4日間にわたり参加をし、佐藤祐文横浜市会議長や梶村充自由民主党横浜市会議長、団团长、また、市役所幹部職員等と相互の情報交換を行った。

顔が見える農業と言ったセールスポイントが効果をもたらしているものと思われる。

本村からの出店は平成20年度から村商工会を中心に、赤城高原農業観光協会やさくら工房・旬菜館利用組合の人たちが参加し、昭和村を横浜市民約370万人の人々に少しでも知っていただきたい、そんな願いを持ってこの事業に出店するようになった。

今年で村からの出店は7回目を迎え、リピーターの人が早くから昭和村ブースを訪れ、お目当ての朝どりレタスや小松菜、ほうれん草などの新鮮野菜を買い求めている。これも生産者の



横浜市会議長室で佐藤議長(中央)や市議員と懇談

大石田町議会が行政視察のため来村

7月2日、山形県大石田町議会総務文教常任委員会の委員4名が行政視察のため来村した。大石田町は人口7800人で、山形県のほぼ中央に位置し、玄そばは県内トップクラスの生産量を誇り、風味豊かな手打ちそばが味わえる「そば街道」など、日本のそば文化をリードする交流拠点にもなっている。

役場会議室で始まった行政視察では、藤井議長、堤村長の歓迎のあいさつの後、本村職員が自立の村づくりについて説明。その後、住民との協働による行



自立の町・村づくりについて意見交換

政運営や優良企業の誘致、若者の定住施策、独自の子育て支援策について、活発な意見交換が行われた。

藤井議長が

県議長会副会長に

6月2日、東京都・全国町村会館で群馬県町村議会議長会の臨時総会が行われ、本村議会の藤井富夫議長が副会長に選任された。

藤井議長は就任にあたり、「副会長という重責を真摯に受け止め、会長を支え、県内23ある町村議会の発展のため全力を注ぎたい」とあいさつした。

林議員が

特別表彰受賞

3月26日、群馬県市町村会館で群馬県町村議会議長会の定期総会が行われ、席上、長年の議員活動の功績により、本村議会の林幸司議員が特別表彰された。

総務民生常任委員会

村政一般、庶務、民生、保健、他の委員会に属さない事項を所管

藤井地内消火栓敷設替えを採択

6月9日に総務民生常任委員会を開催し、付託された陳情箇所と調理室がウェット方式からドライ方式に変わった第二保育園について現地調査を行い、その後、審査に入った。

新聞の役割重視し採択

「新聞への消費税軽減税率適用を求める請願」については、消費税増税に伴い、複数税率の導入と新聞に対する軽減税率の適用を求めるものである。

ところで、新聞は「国民の知的インフラ」であり、国の内外で日々発生してい



第二保育園の調理室について園長が説明

るニュースや情報を正確かつ迅速に報道し、多種多様な意見や論評を広く国民に提供している。一方で、一連の消費税増税に伴い経済的負担が増え、新聞離れが進むといった懸念が生じている。また、欧州各国でも、民主主義を支える公共財として、新聞への消費税はゼロ税率や軽減税率を適用し、消費者が知識を得る負担を軽くしている状況であることから、全会一致で採択とした。

地上式消火栓を新規に

「藤井地内消火栓敷設替え工事のお願いについての陳情」については、藤井地内に設置されている地下式消火栓が該当となる。

消火栓が設置されている村道は幅員が狭く、冬期間の積雪時には消火栓の蓋が発見しずらく、初期消火活動に支障を来すことが懸念される。近年、周辺では住宅が増え、付近には南小学校もあるため、現在の地下式消火栓は現状のまま使用するとともに、新規に地上

式消火栓を設置すべきであることから、全会一致で採択とした。なお、設置については、水道管の口径等を考慮のうえ、適切な場所を選定されたい。

採択受け意見書を提出

請願の採択を受け、「新聞への消費税の軽減税率適用を求める意見書」を安倍内閣総理大臣、麻生財務大臣に提出した。

意見書では、国に対し、消費税増税に当たり複数税率を導入すること、新聞に軽減税率を適用することを強く要望した。



藤井地内の消火栓を調査

自 平成26年5月13日 至 平成26年5月22日

受理番号	受理年月日	件名	請願・陳情者	紹介議員名	付託委員会	審議結果
64	H26. 5.13	地方自治体における政党機関紙「しんぶん赤旗」の勧誘・配布・販売について自治体独自での実態調査及び是正を求める陳情	福岡県行橋市議会議員 小坪 慎也			配布のみ
65	H26. 5.19	請願書 村道千賀戸1号線道路拡幅舗装工事のお願いについて	椋久保南部区長 林 金井 清司 椋久保北部区長 島田 嘉次 椋久保三ツ谷区長 高房	兵藤喜孝	文教産建	採択

文教産建常任委員会

教育、産業、経済、土木、建設、簡易水道、農業集落排水等に関する事項を所管

村道拡幅舗装工事の請願を採択



村道千賀戸1号線について紹介議員の説明を聞く

安全確保のため採択

6月10日に文教産建常任委員会を開催し、付託された請願・要望箇所等の現地調査を実施し、審査を行った。

「村道千賀戸1号線道路拡幅舗装工事のお願いについての請願」では、周辺に住宅が多く、当該村道は地域住民の生活道路となっている。しかし、道路幅員が狭いため、一般車両や緊急車両の通行に支障を来している。土地所有者や隣接地権者の同意を得ており、安全な通行を確保するため、全会一致で採択とした。

財政負担考え趣旨採択

「ゆきとどいた教育の前進をもとめる請願」では、国の責任で30人以下学級の実現と計画的な教職員の増員を求めている。

群馬県では現在、「さくらプラン」により、小学校低学年では30人以下、小学校中学年では35人以下学級が編成されている。また、「わかばプラン」により、中学校1年生では35人以下学級となっている。

OECD（経済協力開発機構）加盟諸国では、30人以下の学級が当たり前であるとの説明が紹介議員よりあった。

こうした状況の中で、国においては、35人以下学級を進めていくという方向性が出されており、30人以下学級の実現と教職員の定数増を図るには、大きな財政負担を伴うことから、賛成多数により趣旨採択とした。

山林の間伐など要請

「村道永井中野線、大河原小学校通学路の安全確保



村道永井中野線の安全対策について調査

対策のお願いについての要望」では、追分地区、大河原地区に通じる室淵沢沿いの村道区間が該当となる。

この区間では、冬期間の積雪により、春まで路面が凍結するため、児童の通学や車両の通行に困難を来している。そこで、当面は道路に日が当たるように、隣接する山林の間伐をする。ともに、付近で熊の目撃情報があることから、歩道沿いの木の伐採を行い、見通しを良くするなど、対策を講じるよう当局に要請した。また、沢に橋を架けるための調査をしてほしい旨意見が出された。

みなさんからの請願・陳情

受理番号	受理年月日	件名	請願・陳情者	紹介議員名	付託委員会	審議結果
66	H26. 5.20	新聞への消費税軽減税率適用を求める請願	群馬県新聞販売組合理事長 金井 美次	加藤 生	総務民生	採択
67	H26. 5.22	陳情書 藤井地内消火栓敷設替え工事のお願いについて	消防団第三分団長 関上 誠司 川額区長 倉澤 俊雄		総務民生	採択
68	H26. 5.22	「ゆきとどいた教育」の前進をもとめる請願	全群馬教職員組合 執行委員長 石田 清人	林 幸司	文教産建	趣旨採択

一般質問

昭和の森ゴルフ場の借地を解決すべき



角田 茂 議員

村長 村の財産として経営をサポートしたい

問

昭和の森ゴルフ場の敷地の6割ぐらいが借地で、年間700万円を支払って村が管理してきたのを、いつ頃からご存知だったのか。

答 村長

昭和の森ゴルフ場は、第三セクター「昭和の森有限会社」で運営するゴ

問

村の政策はまず赤字を減らしていかなくてはならない。専門家が社会体育館は震度6までは大丈夫だと言っている、現在、何の問題もない。1億3000万円をかけ改修するのであれば、そのお金で借地の問題を解決すべきと思うが。

答 村長

ほかの予算を組み替えてということですが、事業は別であり、別途考えていきたいと思っています。また、村の財産としてしっかりと継続できるように、経営についてサポートしていきたいと考えています。

給食センター納入品の指導をしたのか

教育長 傷んだ食材等の納入はないと考える

問

6年前に学校給食センターへの納入品の写真をお見せしたが、今日まで教育長として、何をしてきたのか。

問

あれから5年経っているが、カット野菜等が納入され、未だもって改善されていないと思うが。

答 教育長

当時は、給食センター所長が専任であり、食材の選定・購入等は栄養士の重要な職務であることから、所長と栄養士から納入品の実情について聞き、食の安心・安全の確保について指導しました。

答 教育長

野菜、食材等の購入については、栄養価、また新鮮であるもの等を十分精査して選定するようにしています。

問

今、地産地消を推進しているが、カット野菜やはね出しも

答 教育長

のでも地産なら何でもよいというのではない。市場や農協に出せる新鮮な品物を子どもたちに食べさせるという考えを持たなければいけないと思うが。その後、6年前のような傷んだ食材等の納入はないものと考えています。何か給食の問題で安全・安心でないというような声があれば大変なことですので、そのところ



学校給食試食会に参加



加藤 生 議員

姿勢問

財政規律についてどう考え 維持していくのか

村長 3～5年の財政計画を
総合計画に盛り込む予定

問

今後、ヤマダイフーズやいちごECOエナジの企業進出があり、村に税収増の効果が期待できる。堤村長の進めていく村づくりに
おいて、最も優先的に考えている事業は何かを聞きたい。
また、それに対する財

答 村長

政の3年～5年間の中期計画は考えているのか教えて頂きたい。
5年前に比べて、人件費や公債費は減となっていますが、扶助費については38・2%の増となっています。今後は、メガ

村の発展に欠かせない道路整備計画をどう進めるか

村長 総合的に勘案し、できる限りの道路整備を進めていきたい

問

村の発展に欠かせない道路整備は、特に集落内の生活道路は経年による老朽化が進み剥離や凹凸が目立つがこれらの延長と予算の総額は。また、今後どのように進めていくのか。

答 村長

整備が必要な路線延長は約10km、このうち請願・陳情の延長が5km、

総額については把握していません。本年度は8路線、約3.6kmを予定しています。
建設課の担当が、道路状況、陳情・請願にかかわらず調査をし、今後は総合的に勘案して、できる限りの道路整備は進めていきます。

ソーラーの誘致等により税収増が見込まれますが、景気の動向により法人住民税が激減の可能性があり。財政の硬化を招く義務的経費が多額とならないようにし、扶助費については少子化等に対応する必要な施策を実施し、積極的に取り

組んでいきたいと思っています。最も優先的に考えるのは、子育てしやすい安全・安心で暮らせる村づくりであります。
財政の3年から5年の財政計画は現在はありませんが、今後は総合計画に盛り込んで行きたいと考えています。



菜の花館で元気に歌を披露する保育園児たち

※公債費…借入金の返済にかかる費用。

※扶助費…生活保護費、障害者自立支援給付費、保育所運営費など主に法令に基づき被扶養者に対して給付する費用。

一般質問

関東1の「自然エネルギーの村」づくりを



林 幸司 議員

村長 自然エネルギーの可能性を
模索し進めたい

問

原発ゼロへ、再生可能エネルギー買取認定容量は4120万kWにもなり、メガバブル状態。平均家庭の電気料負担も年1万5千円は増える。

答 村長

3本柱の村づくりへ、国の「環境モデル都市」へ応募するよう求める。

問

空き家率が13%に増え、大きな社会問題となり、272自治体が条例で規制を実施。対策特別措置法案も提出される。

答 村長

抽出調査から約179戸あると推計され、まずは現状把握の取り組みを進め、それに見合った対策を検討していきたいと思っています。

生越貝野瀬いちごメガソーラーは関東1の規模。固定資産税収の説明を。民地は山林から雑種地となり宅地並課税となるが減免制度の実施を求める。

「野菜王国」「日本で最も美しい村」に、「自然エネルギーの村」を加え、

今後自然エネルギーの可能性を模索し、取り組みを進めていきたいと考えています。

メガソーラー税収の還元で「子育て負担ゼロの村」づくりを

村長

財政状況の検討を踏まえ対応

問

人口の減少をくい止めるためにも、メガソーラーに伴う1億円以上の税収増(地代収入含む)を活用し、子ども達に関わる、村としての負担金をゼロにする「子育て負担ゼロの村」づくりについて提案したい。1億円を還元すれば、

答 村長

保育料と学校給食費、高校生までの医療費無料化が実現可能。ぜひ実施するよう求める。

県内3町村が給食費完全無料化を、10市町村が軽減等を実施しています。子育てしやすい環境づくりは大変重要だと思いますので、今後も、国県、他市町村の動向、本村の財政状況等々を踏まえ、支援策の充実にむけて対応していく所存です。



イベントに参加した保育園児たち



倉澤 俊雄 議員

姿勢問う

国道17号バイパスの 本村への誘致を

村長 昭和村経由が最善である

問

一般国道17号は関東と北陸を結んで本州を縦断し、観光・物流の要であり、毎日の暮らしに欠かせない生活道路として、古くから地域発展に貢献している群馬の大動脈である。昨今、交通量の増加、あるいは災害防災を含めて将来に向けて、バイパスが少しずつ整備され、綾戸バイパスも実現に向けて着々と進んでおり、5月27日に沼田市岩本町の地元説明会が実施された。約2.3km区間で、総工事費約160億円、1m当たり700万円という大事業である。沼田市綾戸地区から鷺石付近までの約6.2km区間は依然未定であり、それ以上にJ R上越線と国道17号が平行して走っており、地形的に拡幅が困難である。昭和52年に落石事故があり、将来的に落石災害の防止と交通安全の確保の観点から、昭和村経由のバイパスが最善であると考えている。本村に昭和インターチェン

答
村長

ジもあり、当バイパスと連結をした場合、将来飛躍的な発展に繋がること予想されるが、村長の忌憚のない考えを伺いたい。

同区間では、これまで落石事故も発生しております。今後も異常気象の影響などから、想定を超える災害が発生する可能性があるものと思われま

す。利根川とJ R上越線に挟まれた現道路では防災対策についても限界があるのではないかと思います。また、災害に強い道路整備という観点からも、関越自動車道及び周辺道路の交通規制時には代替路として万全の機能確保を図らなければなりません。そうしたことから同区間のルートとして昭和村を経由するバイパスが最善ではないかと私自身も考えております。今後、議会とも相談をしながら検討していきたいと思



地形的に拡幅が困難な国道17号

一般質問

東京電力の社宅跡地を取得して



兵藤 喜孝 議員

村長 宅地確保を前向きに検討していきたい

問

今年は、県をはじめ、各市町村において人口減少対策として様々な取り組みを行っている。

村でも若者の定住を促進するために100万円の新築住宅事業を行っており、積極的な取り組みとして評価するところである。

しかし、昭和村に住みたい、補助金を活用したいと考えても宅地がなければ住宅は建てられない。やはり、宅地があることで補助金制度が活かされるのではないか。

宅地の候補地として川額(原前地区)にある東京電力の社宅跡地を検討していただきたい。面積は1350坪あり、駅や小学校も近く、立地条件がとても良いと考える。若者の定住化を推進するために東京電力との取得に向けた協議を進めていただきたい。

答 村 長

定住化対策において、

問

東京電力の社宅用地を住宅用地への活用について協議を進めてまいりましたが、東日本大震災を機に凍結された経緯がございます。

若者の定住を目指す村営住宅の整備や以前からの検討課題であります。が、村内にある集団的な住宅候補地は限られており、東京電力では震災以後、経営資金の財源として保有財産の処分を検討している動きもあります。

そこで、保有する東京電力や周辺で進められている民間賃貸住宅事業者の動向等を調査しつつ、民間の経営を圧迫しないよう、人口減少、定住化対策の一つとして検討していきたいと考えております。

前村長が農地を宅地誘導地域に指定して、県に農振除外の手續きを緩和してもらった取り組みを行ったと聞いている。

人口減少の取り組み

答 村 長

は、待ったなしと考える。宅地確保の必要性を聞きたい。

年に2回、農振除外の審査をしています。今年から2年間、知事

の諮問機関である農業審議委員になりましたので、県の基本的な施策も良く聞いた上で、家を建てるには大変良い場所である東京電力の土地を含めて情報交換をしながら進めていきたいと考えています。



川額(原前地区)にある東京電力の社宅跡地

問

福島第一原発事故以来、夏になると電力不足の懸念から節電が実施されている。また、防犯灯の蛍光管をLED（発光ダイオード）に切り替えることにより、消費電力が約20%少なくなると言われ、LEDに変える自治体が増えている。

今後、村でもLEDに切り替える考えはあるのか。

また、村で防犯灯の一元的管理を進める考えがあるのかお聞かせ願いたい。



答

LED防犯灯照明は、蛍光管などの従来型と比較すると、低消費電力のうえ、長寿命と高い信頼性があるため、一度設置すると電球交換の保守点検が省け、多くのメリットがあることは承知しています。

村内全域のLED化については、費用対効果を考慮しながら研究していきたいと思います。

また、行政区での境界で、所在が不明確な場合は村が管理しております。防犯灯の電気代については、村より、行政コミュニティ事業補助金として支出しており、引き続き各行政区に実施していただき、きめ細やかな防犯対策をお願いしていきます。



その後

村では、各行政区等で管理する防犯灯について、LEDに切り替えることとしました。理由として、人目につきやすい防犯灯をLED化することによって、地球温暖化防止に対する意識の啓発とCO₂（二酸化炭素）の削減効果、また、電気料金や管理運営などの費用対効果を考慮したためです。

なお、防犯灯の管理については、防犯灯に限らず地域ぐるみで細かな防犯対策を図ってきた経緯もあるので、今後、村で検討するとのことです。



LEDに切り替わる村内の防犯灯

防犯灯をLEDに切り替え、村で一元的管理を

追跡
シリーズ

22

あの問題は



議員が行う提言などは、村政にどう反映されているのか。皆さんからの請願や陳情は議会採択後、どのように処理されているのか。その後の経過を追跡します。

（平成24年9月定例議会一般質問）

聞きたい、知りたい

みんなの声

4月12日、長者の原「結婚の森」で、さくらの木の記念植樹がありました。今回の「みんなの声」は植樹に参加された「昭和村でがんばっている若いカップル」に登場していただきます。



7月から就農しました。就農と言っても、まだ右も左もわからず、両親の手伝いをしている様ところです。

ですが、日々作物を収穫・出荷できる喜びを感じながら、安定出荷・品質向上の難しさなど、農業について様々な事を勉強している毎日です。

つい先日まで、農協職員として働いていました。高校を卒業後、いろいろなことを経験していく中で、実家の家業に興味を持ち農業を継ぎたいなど、就農を決意しました。しかし、結婚して間もないことや、2月に起きた大雪による雪害など心配や不安などたくさん



鈴木 貴紀さん 妻(椽久保北部)
みどりさん

これから昭和村で



諸田 智則さん 妻(永井上組)
恵生さん

村での出会い

ありました。

そんな中、昭和村には同級生をはじめ、若い後継者たちのがんばっている姿を見ると、悩みなど相談もしやすいし、色々なことをシェアできる環境が整っており、また、嫁も農業に関心を持っているということもあり、そんな心配など打ち消す強い後押しとなりました。

これから、農業だけでなく、地域の行事など積極的に参加し、さらに昭和村を若い力で盛り上げられるよう頑張っていきたいと思います。

私は、昭和村の蒔蒔芋農家に嫁いで一年になります。

私は、奈良県出身で農業があまり身近ではない環境で育ったため、昭和村での生活は初めての連続で毎日が新鮮でした。

言葉や風習の違いでも驚くことはたくさんありましたが、すぐ近くに広大な畑が広がり、トラクターが行き交う風景や食卓に季節の野菜がたくさん並ぶなど、暮らしの中に農業が大きく関わっている事が一番新鮮に感じました。

そして、その農業のおかげでたくさんの人に出会う事ができました。優しく声をかけてもらったり、アドバイスをしてもらったり、みんなの温かさが伝わり、知り合いもいなかった土地で寂しいと感じる事もなく過ごせています。

昭和村で出会った人たちへの感謝を忘れず、これからがんばりたいと思います。

昭和村で生まれ育って

私は、昭和村で生まれ、昭和村で育ちました。高校を卒業後、東京の学校へ行き、美容師となりました。特に昭和村にこだわったわけではありませんが、独立を考えたとき、生まれ育った村だからと言う理由と、顔見知りが多いとの理由で昭和村で美容室を始める事

になりました。

実際お店を出してあたためて感じているのは、昭和村の人はずいぶん温かい人が多いと思うことです。お客様であるのに、時には友達のように相談に乗っていただいたり、親のように心配してくださる方もいます。

また、お客様の中には利根沼田の近場の方のほか、遠く太田方面から通ってくださる方もいますが、遠くからのお客様に昭和村のイメージを聞くと、こんなにやく・レタス・ほうれん草などの農業のイメージが強いようです。やっぱり、昭和村というと農業が有名なんだなと実感します。

頑張っている農家の方たちに負けないよう、私も昭和村を知っていただくために、美容の方面から頑張りたいと思います。



高橋 昭弘さん 夫妻(常木)
典可さん

議会の動き

4月

- 18日 ●第2回昭和村議会臨時会
- 29日 ●「昭和の日」記念イベント
「やさい王国 昭和村」フォトコンテスト表彰式
- 30日 ●議会全員協議会

5月

- 2日 ●春の道路愛護巡視
- 12日 ●利根沼田国民健康保険運営協議会長連絡会総会
広域圏消防運営委員会
利根郡町村議会議長会(定例)
広域圏定例議員協議会
利根沼田学校組合議会議員協議会
利根沼田学校組合議会臨時会
利根郡体育協会総会
利根地方総合開発協会理事会
利根郡体育協会総会
- 23日 ●議会全員協議会

利根地方総合開発協会総会
利根郡町村議会議長会(臨時)
利根郡町村議会議長会退会感謝状贈呈式

- 26日 ●議会運営委員会
議会広報編集特別委員会
- 27~28日 ●全国町村議会議長・副議長研修会(メルパルクホール東京)
- 28~31日 ●横浜開港記念バザー

6月

- 1日 ●利根沼田消防ポンプ操法競技会
- 2日 ●敬老会及び福祉大会
- 2~3日 ●群馬県町村議会議長会臨時総会及び議長・事務局長研修会(全国町村会館)
- 6日 ●第3回昭和村議会定例会
本会議(初日)
- 9日 ●総務民生常任委員会
- 10日 ●文教産建常任委員会

11日 ●議会全員協議会

13日 ●本会議(最終日)

16日 ●議会広報編集特別委員会

24日 ●議会広報編集特別委員会

26日 ●農業振興地域整備促進協議会(前期)

7月

- 1日 ●議会広報編集特別委員会
- 2日 ●山形県大石田町議会総務文教常任委員会行政視察来村
- 7日 ●村づくり協力委員会と花植え・意見交換会
- 14日 ●利根郡町村議会議長会(定例)
広域圏定例議員協議会

地域でがんばる人

コスモスグループ代表 鈴木 幸子さん

私たちの会は別々のグループでした。

ペインテックス手工芸は、沼田市の指導者のもとで沼田文化協会に所属して、毎年出展しています。

押し花は2年に1度、文化会館にて「ふしぎな花倶楽部のばら会利根沼田支部」に入り作品展を開いています。昭和村に住み「額絵」に見ると言う共通の二つのグループを併せて「コスモスグループ」となり、昭和村の文化協会にお世話になって、年に1度、公民館で織姫と彦星のように出会っています。



(赤城原第1)

力作がずらりと並んだ村文化祭

どちらも沼田教室と昭和教室があります。お近くにいる会員を通して仲間になりませんか？ また、秋の文化祭公民館祭りでは作品展でお世話になっています。草花・野菜の自然な色や風景は美しく、鳥や動物は可愛らしく、とても癒やされます。そんな姿を押し花やペインテックスで表現しているグループです。

夏の健康ちよつとレシピ

(昭和村管理栄養士 堤 梨紗)

材料(2人分)

キャベツ…200g、ツナ缶(水煮)…40g

【レモンマヨソース】レモン汁…小さじ2、マヨネーズ…大さじ1、にんにく(すりおろし)…少々、塩…少々、こしょう…少々

作り方

- ①キャベツはひと口大に切り、塩少々を加えた熱湯でサッと茹で、水気を切る。
- ②ツナは汁気を切る。
- ③ボウルにレモンマヨソースの材料を混ぜ合わせ、①、②を加えて和える。

栄養価(1人分)

熱量…97kcal、塩分：0.7g

食事バランスガイド

副菜：1つ



ワンポイントアドバイス

- ・レモンの風味でさわやかなサラダです。レタスなど材料をかえてもいいでしょう。
- ・お好みで粒マスタードを加えてもおいしいです

編集室から

本県の富岡製糸場と絹産業遺産群が、世界文化遺産の登録を受けて盛り上がりを見せております。

養蚕県群馬の歴史と文化を見直す機会になると思います。村でも養蚕民家が数多く残っており、その建物は作業効率や大量生産を考え、品質の良い繭を作るための日本人の知恵と工夫が詰まっており、生産工場の仕組みを備えており、日本の近代化の原点がここにあるといっても過言ではありません。

歴史的・文化的価値の高い養蚕民家をどう次世代に継承していくか、これからの取り組みに期待するところであります

議会広報編集特別委員会

委員長 加藤 美昭

副委員長 兵藤 喜孝

委員

倉澤 俊雄 角田 茂

加藤 生 星野 吉一

山田 博昌 藤井 富夫

高橋 昇三

兵藤 喜孝 記